

一人一人が備えてこい！

防災力UP！鳥羽

vol.13

総務課防災危機管理室



11118

新しい避難の考えかた

「立ち退き避難」と

「屋内安全確保」

「避難」とは、災害から命を守るための行動のことです。避難所への避難だけでなく、家屋内にとどまって安全を確保することも「避難行動」の一つです。

例えば、避難勧告などが発令されたが逃げ遅れ、あらかじめ決めておいた避難所まで移動する「立ち退き避難」が危険だと判断される場合は、近隣のより安全な場所や建物へ移動したり、それさえ危険な場合は屋内に留まる「屋内安全確保」を考えましょう。

特別警報が発令されたら…

重大な災害の起こる恐れが著しく大きい場合、警報よりも強い「特別警報」が発令されます。このとき、市から住民のみなさんへは、「周囲の状況を見て、避難行動を取

てください」と呼び掛けます。注意報や警報の段階で早めに避難をしておくことが望ましいですが、まだ避難を完了していない場合、「避難所へ避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる」ということを考えるようにしてください。

6月は土砂災害予防月間です

平成26年2月21日に、答志町・桃取町地区が、土砂災害警戒区域等に指定されました。他の地区については、現在調査が進められているところです。大雨の季節になると、地盤が緩むことにより、土砂災害の危険性が増します。土砂災害が発生する前は、いろいろな現象が起こる場合があります。次のような前兆現象を発見したら注意しましょう。

こんな前兆に注意

長雨や大雨、または地震が発生したときに下記のような現象がおきたら、土砂災害の前兆が考えられます。



川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる。



斜面から水がふき出す。



地面にひび割れができる。



沢や井戸の水が濁る。



雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

農水産物直売所

「鳥羽マルシェ」

ロゴマークが決まりました

農水商工課商工労政係 ☎ 25 1156



鳥羽マルシェ Toba Marche

デザイナー濱口温男さんの作品で、鳥羽の農水産物をお福分けするイメージと「安心感」「信頼感」を表現したとのこと。

多くのかたがたに応募いただきました。総数223点の中から採用作品を決定しました。

ロゴマークとしての汎用性や1色で表現できるか否かといったことに加え、本施設が「生産者の笑顔や収穫の喜びを食べる幸せにつなげていく場所」「旬の食材が持つ力を自分の健康を高める力につなげていく場所」「豊かな食を育んできた鳥羽の風土や歴史、市内各地の魅力につながる場所」といったコンセプトを掲げ、地域農水産物の良さを伝えていく拠点であることに合致するかなどの視点から審査を行い、最終的に1点に絞り

選ばれたのは、高知県在住

決定したロゴマークについては、今後、施設の看板などにも活用していく予定です。なお、「鳥羽マルシェ」について、広報とば2月1日号で今年の夏オープンとお伝えしたところですが、工期延長と準備体制強化のため、オープンが10月中旬になる見通しとなりました。生産準備を進めていただいているみなさん、楽しみにお待ちしております。残念なお知らせとなりましたことお詫びします。今後、さらに準備に力を入れ、みなさんの笑顔と健康づくりに貢献できる施設としていきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。